



自由民主党日南市議員
川越 昇 議員

地震津波対策について

(問) 南海トラフ巨大地震への備えのため、地震や津波に対する本市の防災対策の迅速化について、市長の考えはどうか。

(答) 市では、津波避難対策緊急事業計画を策定し、情報伝達手段の確保や、津波避難施設等の避難場所の整備を行い、また住民の防災意識の向上及び自主防災組織の育成充実、避難訓練の実施等の各種施策に取り組み、効果的な避難対策を進めている。地震津波対策は、急務であると認識しているため、施策の推進についてスピード感を持って取り組む。

新庁舎建設について

(問) 建設時期の予定について、市長の考えはどうか。

(答) 新庁舎は、できる限り早期に工事着手したいと思うが、数十年に一度の大型事業であることや、多額の事業費が予測されることなどを考慮すると、慎重に進めなければならぬ。新庁舎の建設について、今年度に基本構想を策定し計画を進めたい。

地域づくりの拠点について

(問) 地域連携組織について、地域を創る交付金事業は今後どう展開していくのか。

(答) 今後の展開は、地域連携組織の充実、強化を図るためにも継続したい。

(問) 本市の地方創生として今後9地区の自治制度について、市長の考えはどうか。

(答) 平成27年度より日南市地域内分権検討委員会を立ち上げ、日南市にふさわしい地域内分権のあり方や仕組みづくりについて、本年度末で方向性を示すことで検討されていく。委員会からの答申を受けて、地域自治の仕組みづくりについて検討していく。

次世代育成について

(問) 将来を担う次世代育成事業について、市内の小中高生の確かな学力など、特色のある事業の効果は出ているのか。

(答) 事業の効果は、すぐさま成績に表れるものではないが、参加する児童生徒の数も、平成27年度は、平成26年度に比べて約1.6倍に増え、延べ千人を超えたことから、市全体的に事業の周知が図られ、事業効果が着実に現れてきている。



自由民主党日南市議員
谷口 慎一 議員

市長の政治姿勢について

(問) 北郷・南郷の地域協議会の内容を問う。

(答) 市の施策等の報告、自治区に関する予算や施策、意見書等の協議を行っていただいている。

(問) 地域協議会の10年間設置期間終了後はどうなるのか。

(答) 今年度末までに日南市地域内分権検討委員会の答申を受け対応を検討していく。

(問) 来年度の執行体制について、副市長二人制、部長制の検討は行わないか。

(答) 今後、検討を進めていく。

(問) ゆうパパ運動の成果について問う。

観光行政について

(答) 市男性職員の育児参加休暇取得率が上がっている。

(問) 市営旅客船あけぼの3を、市直営ではなく指定管理にする意向はないか。

(答) 行政評価外部評価委員会からも指摘を受けているので、法令・運行管理などを整理し、検討していく。

(問) 海水浴場のシャワー料などの料金体系の統一はできないか。

(答) 海水浴場の指定管理者と意見交換を行ってみる。

(問) 油津の観光拠点施設の、進捗状況はどうか。

(答) 本定例会に、地域生活基盤施設整備事業として旧ゲオの跡地を駐車場等として活用するため、公有財産購入費として、予算を提案している。

特定検診について

(問) 2日間に分かれている、肺がん・大腸がん・胃がん検診を1日でできないか。

(答) 同日実施の場合、検診車の台数・会場確保・時間設定など、調整が必要なため総合的に検討する。



観光拠点施設として購入する場所
(旧ゲオ跡地)



自由民主党日南市議員
郡司 誠秀 議員

農業の販売戦略について

(問) 昨年度の宮崎県農水産物の海外輸出額は25億円とあり、国も2020年に1兆円の輸出を目標にしている。市も、海外販売に向けて、ジェトロを招いての研修会はできないか。

(答) 県南での開催計画があるので、商工サイドとも連携し、市内商工業者・農業関係者などに周知し、研修会参加を呼び掛けていく。

飼肥城周辺の活性化について

(問) 飼肥城敷地内に、物産館を設置する要望について、検討はされたか。

(答) 関係団体等と意見交換を行ったが、物産館の必要性も含め更なる検討が必要。市内の農林水産物販売所を案内するなど、回遊性を高めることも重要と考えている。

学力の向上策について

(問) 学力向上策の一つとして、教育のICT活用のための、モデル校設置や研修会開催、支援員配置の考えはないか。

(答) モデル校については、ICT機器導入予定校からの協力を得て行いたい。研修会等も効果的な方

法での開催を検討していく。支援員については、今後研究していくが、機器の操作や不具合については、取扱業者に願う。

市営墓地について

(問) 既存の市営墓地について、墓地そばに駐車場を整備し、車で横付けができるようにするか、それが無理なら、新たに公園墓地など作れないか。

(答) まだ、墓地区画の貸出に余裕があり、また墓地を作らず他の方法で永代供養される市民も増えている。

新たな設置は考えていないが、既存墓地の環境についてはできるだけ整備していく。



市営墓地。車が横付けできるような駐車スペースの確保が必要です。



公明党日南市議員
黒部 俊泰 議員

国土強靱化地域計画策定について

(問) 東日本大震災の教訓を機に、「国土強靱化基本法」が公布・施行され、「国土強靱化地域計画」を定めることができることとされた。それにより大規模自然災害等から市民の生命、財産を守り、「事前の備え」を効率的かつ効果的に行うための取組ができる。計画策定の時期や内容はどのように考えているのか。

(答) 県は、現在策定中で、本年中には、策定を終える予定である。本市としては、国・県との整合性を図る必要があるため、県の計画発表後になると想定している。

市長の政治信条・憲法9条の改正について

(問) 市長は、政治団体「龍馬プロジェクト」市長会のメンバーとして市政運営に取り組まれているが、合言葉は「地方から国を変えろ」であり、その政治理念「国是十則」には、日本国憲法の改正、国防軍の創設が明記されている。具体的な活動が行われているのか。

(答) 市長として、地方創生に邁進

しており、国レベルの事については、まだ全く活動できていない。

(問) 国防軍の創設を実現しようとする思想において、憲法の3原則の「平和主義」を守ることはできるのか。

(答) 「平和主義」は堅持しなければならぬ。ただ、時代、隣国との状況であるとか、いろんなことがある。平和であるために、国民を巻き込んだ議論がされるべきと考える。

胃がん撲滅の取組について

(問) 「ピロリ菌検査の実施およびその助成」を求める署名活動を実施し、2万660名の署名を市長に提出したが率直な感想を問う。

(答) 2万人を超える、多くの市民の皆様からの署名については、重く受け止め、改めて、市民の健康に対する関心の高さを感じた。

(問) 署名提出の際、市長は「すでにピロリ菌除菌を済ませた」とコメントされた。その効果についての認識と、今後のピロリ菌検査の取組について見解を問う。

(答) 国が「死亡率減少効果の科学的根拠が十分でないため、引き続き検証を行うっていく必要がある」と報告していることから、国の動向を踏まえ、対応していく。



日本共産党日南市議団
井福 秀子 議員

防災対策について

(問) 今までに木造住宅耐震診断を受けた件数、倒壊する可能性がある、また高いと診断された件数、耐震工事をされた件数は何件か。

(答) 今までに92戸の住宅が耐震診断を実施。倒壊する可能性がある住宅は39戸。倒壊する可能性が高い住宅が30戸である。改修工事を実施したのは5戸である。

東九州自動車道の交通安全対策について

(問) 東自動車九州道では、130kmの対面通行区間で、昨年だけで22件の事故が起きている。日南から清武南区間は対面通行なのか、分離式なのか。

(答) 中央帯には、ラバーポールではなく、高さ90cmのコンクリート製の剛性防護柵を設置する計画であり、安全性は保たれる。

食物アレルギーのある子どもの給食について

(問) 全国調査で、食物アレルギーのある子どもの給食をまちがえて配膳してしまう誤配や、ほかの子どもに配膳された給食を食べてしまう誤食が、保育所の約3割で起

きていることが報告された。日南市の実態はどうなっているか。

(答) 市内23施設のうち、誤配・誤食のあった施設が8施設、子どもにアレルギー症状が出た施設は1施設、子どもがアナフィラキシー状態になった施設はなかった。

子どもの貧困解決について

(問) 市は、子どもの貧困解決のために抜本的な取組を推進されるが、どういう事業内容か。

(答) 子どもの貧困の実態や必要とする支援などを把握する。必要な支援に伝えられる施設や人材などの地域資源の把握を行う。調査結果を基に関係者で議論をして具体的な支援体制の整備計画を本年度中に作成する。来年度以降は貧困にある子どもの学習支援や居場所づくりなど支援事業を実施する。

(問) 改善の目標数値をきちんと決めて取り組むことが必要と思うが目標数値を出されるのか。

(答) 事業を進める中で検討する。

(問) 貧困の原因になる非正規雇用は、若者雇用の半分を占めると言われる。日南市の実態はどうか。

(答) 平成27年度で20代から40代の非正規雇用者数は就労された方の約58%となっている。



日本共産党日南市議団
和定 恭輔 議員

アベノミクスの評価について

(問) アベノミクスの新3本の矢は、希望を生み出す強い経済、夢を紡ぐ子育て支援、安心につながる社会保障を掲げているが、その実態は、自助・共助の名による国民へのさらなる負担増政策である。これらは、日南市総合戦略のまちづくりの障害になるのではないか。

(答) 新3本の矢の目標である、強い経済、出生率の上昇、働く場の確保は、本市の総合戦略の目標とも一致しており、新しい仕事をつくり、安心して働ける環境づくりが進めば、自然と市民力も高まってくるので、アベノミクスがまちづくりの障害につながると思っていない。

介護保険の新しい総合支援事業について

(問) 要支援の介護予防支援サービスのうち、訪問介護やデイサービスは、保険給付から外され、平成29年度中には市の新しい総合事業で実施される。どういう訪問介護サービスを準備しているか。

(答) 基本チェックリストとケアマ

ネジメントの結果により、現行サービス同様、必要に応じてヘルパーによる自宅での入浴や食事などの生活支援事業を、市が事業所を指定し行う。看護師や作業療法士による閉じこもりや認知症予防、運動器機能向上の指導・支援を行う訪問型介護予防事業も市内の訪問看護事業所に委託して継続する。

(問) デイサービスはどうなるか。

(答) デイサービスセンターでの食事、入浴などの事業、現行のサービスを緩和した基準による事業、保健・医療の専門職による概ね3カ月間の運動器等の介護予防プログラムなどの3事業を、事業所を指定し、委託により実施する。

プレミアム商品券事業について

(問) 国の補正予算により、地域消費喚起・生活支援型の「地域住民生活等緊急支援交付金」事業として取り組まれた本事業は、当初の目的を達成できたと思うか。

(答) 発行総額4億5600万円のうち加盟店利用額は4億5517万2千円。活用した交付金は9369万円。約4・9倍の直接的消費に繋がった。国試算による新規消費喚起額は1億4千万円超で、消費喚起と経済活性化の目的を概ね達成できたのではと思う。

産業建設委員会活動報告

産業建設委員会は、所管の産業活性化や、社会資本の充実にかかる調査・研究のため関係団体との意見交換を行っています。5月24日は、日南土木事務所・油津港湾事務所と意見交換会を開催しました。

日南土木事務所

24の国道道路線や44の河川の管理の他、砂防、ダム、県営住宅等の維持管理を所管しています。

特に、東九州自動車道の整備に合わせ、県道の改良や老朽化対策、歩道整備などを進めています。

28年度は上半期に公共事業費の8割を前倒して発注すること、施工時期の平準化をはかり、県内経済への波及効果も期待しているところです。また、5月16日には国道448号（仮称）夫婦浦トンネルが貫通し、今秋完成の見込みです。

河川・海岸事業では浸水被害軽減や老朽化対策に加え「津波・高潮・耐震対策」の早期整備が課題となっています。

意見交換の中で、河川の堆積土除去は、危険度の高い順で進めていることや、堤防の草刈り等については、パートナーシップ事業の

利用により、民間との協働で良好な河川環境の維持に取り組んでいくとの話になりました。

油津港湾事務所

3港湾・8漁港及び各港湾・漁港区域内の海岸を所管しています。

将来、油津港が檢疫港指定になる可能性について、外国貨物船やクルーズ船の寄港の需要が、さらに高まれば国への要望もできるのではとの話が出ました。

また、今後、定期貨物船の寄港が増えるようであれば、今の9号及び10号岸壁では受け入れ能力が不足するため、11号岸壁の新たな整備を要望する必要があるとの意見が委員から出されました。



意見交換会のようす

是非、議会を傍聴してください！

■平成28年第3回（9月）定例会 開催予定■

- 9月 5日 開会、本会議
- 9月 6日 本会議
- 9月14日～16日 本会議（一般質問）
- 9月20日、21日、23日 委員会審査（議案分）
- 9月27日 本会議（議案採決）
- 9月28日～30日、10月3日 決算審査
- 10月 4日 本会議（決算採決）、閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。



☆インターネットで議会がご覧いただけます！

本会議のようすは、生中継・録画放映でご覧いただけます。

<http://www.nichinan-city.stream.jfit.co.jp/>



審議結果一覧



※平成 28 年第 2 回定例会の審議結果を掲載しております。

番号	議案名	審議結果	
		委員会	本会議
報告第 3 号	専決処分の承認を求めることについて	-	原案承認
報告第 4 号	専決処分の承認を求めることについて	-	原案承認
報告第 5 号	専決処分の報告について	-	終了
報告第 6 号	専決処分の報告について	-	終了
報告第 7 号	日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	終了
報告第 8 号	北郷町温泉協会の経営状況を説明する書類の提出について	-	終了
報告第 9 号	平成 27 年度日南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	-	終了
報告第 10 号	平成 27 年度日南市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	-	終了
報告第 11 号	平成 27 年度日南市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	-	終了
報告第 12 号	平成 27 年度日南市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	-	終了
議案第 45 号	日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第 46 号	平成 28 年度日南市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決	原案可決
議案第 47 号	平成 28 年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	原案可決
議案第 48 号	日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第 49 号	日南市地域特別賃貸住宅 A 型管理条例を廃止する条例	原案可決	原案可決
議案第 50 号	財産の取得について	原案可決	原案可決
陳情第 7 号	寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書提出を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第 8 号	奨学金制度の充実等を求める意見書提出を求める陳情書	継続審査	継続審査

採決結果一覧

賛否の別れた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。

なお、表中の記号は次のとおりです。（○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長）

議案番号	議案名	審査結果	杉尾麻起子	北川浩一郎	郡司誠秀	谷口慎二	小玉弘明	川越昇	黒部俊泰	林一彦	山田一	山本定則	川口和也	前田幸雄	岩永憲明	濱中武紀	福岡浩一	和足恭輔	安竹博	中尾貞美	井福秀子	田中重信	井戸川格	採決結果
議案第 48 号	日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	議	○	×	○	○	原案可決
陳情第 7 号	寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書提出を求める陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	議	○	×	○	○	継続審査
陳情第 8 号	奨学金制度の充実等を求める意見書提出を求める陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	議	○	×	○	○	継続審査

注 1) 議長は採決には加わりません。

注 2) 議案の賛否は原案についての表決ですが、陳情第 7 号及び陳情第 8 号は「継続審査」とすることの賛否についての表決です。

議会日誌

(4月から7月初旬・抜粋)

【4月】

- 7日 ICT活用推進特別委員会
- 13日 海上自衛隊呉地方総監部及び広島東洋カープオーナー表敬(14日まで広島県)
- 14日 埼玉県川口市議会が行政視察のため来訪
- 15日 議会だより編集委員会
- 25日 議会改革推進特別委員会、ICT活用推進特別委員会
- 27日 九州市議会議長会定期総会(28日まで長崎市)

【5月】

- 9日 会派代表者会議、常任委員会勉強会、埼玉県川口市議会が行政視察のため来訪
- 11日 総務文教委員会行政視察(13日まで北海道岩見沢市、滝川市、苫小牧市)
産業建設委員会行政視察(13日まで北海道音更町、富良野市、美瑛町)
- 13日 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会・定期総会(東京都)
- 17日 市民厚生委員会行政視察(19日まで新潟県長岡市、長野県佐久市)
- 23日 ICT活用推進特別委員会
- 24日 産業建設委員会と日南土木事務所・油津港湾事務所との意見交換会
- 30日 九州市議会議長会理事会(東京都)
- 31日 全国市議会議長会定期総会、宮崎県市議会議長会臨時総会《東京会議》、県選出国議員への要望活動(6/2まで東京都)

【6月】

- 5日 近畿北郷会総会(大阪市)、東海地区ふるさと日南会総会(犬山市)
- 6日 議会運営委員会
- 13日 全員協議会、永年勤続議員表彰伝達式、第2回定例会 開会、産業建設委員会審査
- 14日 本会議(質疑)、予算審査特別委員会全体会議
議会だより編集委員会
- 22日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 23日 本会議(一般質問)
- 24日 本会議(一般質問)、総合交通・産業活性化対策特別委員会
- 27日 委員会審査、議会運営委員会、ICT活用推進特別委員会

【7月】

- 1日 予算審査特別委員会全体会議、予算審査特別委員会分科会長会、本会議(採決)、第2回定例会 閉会、議会だより編集委員会
- 3日 在京北郷会総会(東京都)

トピックス 故 倉岡 郁夫議員を偲ぶ

去る6月23日、倉岡郁夫議員が56歳という若さでお亡くなりになりました。

6月定例会開会となる6月13日と翌14日には、いつもと変わらない元気なお姿で会議に出席され、22日には一般質問も予定されておられたことから、突然の訃報に誰もが信じられない思いでした。

平成17年8月に旧北郷町議員に初当選され、合併後は産業経済委員会委員長を努められ、卓越した政治手腕を発揮していただきました。

また、病魔に侵されたご自身の体験を基に、議会においても健診の必要性を切に訴えられるとともに、健診の普及・啓発に努められ、現在は受診率が向上するなど、倉岡議員の活動が実を結びつつあります。

日南市議会は、倉岡議員の実直な姿勢を受け継ぎ、これからも市民の福祉向上に力を注いで参ります。



在りし日の故倉岡郁夫議員(平成26年12月議会)

■ご意見をお待ちしております■

議会だよりに関するご意見・ご要望等がありましたら、下記までご連絡ください。

【日南市議会事務局】

TEL 0987-31-1142 / FAX 0987-31-1778

E-mail gikai@city-nichinan.jp



編集後記

東日本大震災から5年が経過した本年4月、熊本地震の大災害が発生しました。被災者の皆様へお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方へ心よりお悔やみを申し上げます。

日南市におきましても、日ごろの備えや、防災意識向上の大切さを痛感していますが、少子高齢化の影響で一人暮らしの高齢者が居住されている地域も多く見受けられますし、自助と共助の防災力を強くするのは簡単ではありません。特に、これからの時期は、ゲリラ豪雨や台風の襲来も危惧されますし、予期せぬ災害がいつ起こってもおかしくない時代様相です。

しかし、突然の大災害時においても、レジリエンスという心の復元力やエンパワーメントという心の内発力で、誰もが困難な危機を乗り越える力を引き出すことができるともいわれています。

熊本地震の被災者の皆様の、負けない心やあきらめない心を見習い、私たちも、防災に取り組んで参りましょう。

【議会だより編集委員会】

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 林 誠一 |
| 副委員長 | 郡 司 彦 |
| 委員 | 北 川 浩 一 |
| | 黒 部 俊 一 |
| | 田 和 重 |
| | 中 足 恭 |
| | 重 恭 俊 |
| | 信 輔 泰 郎 |